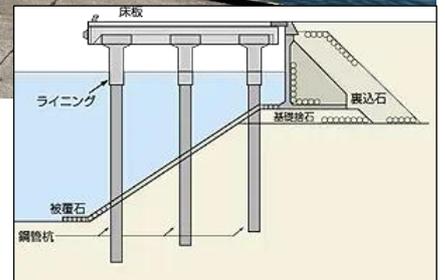
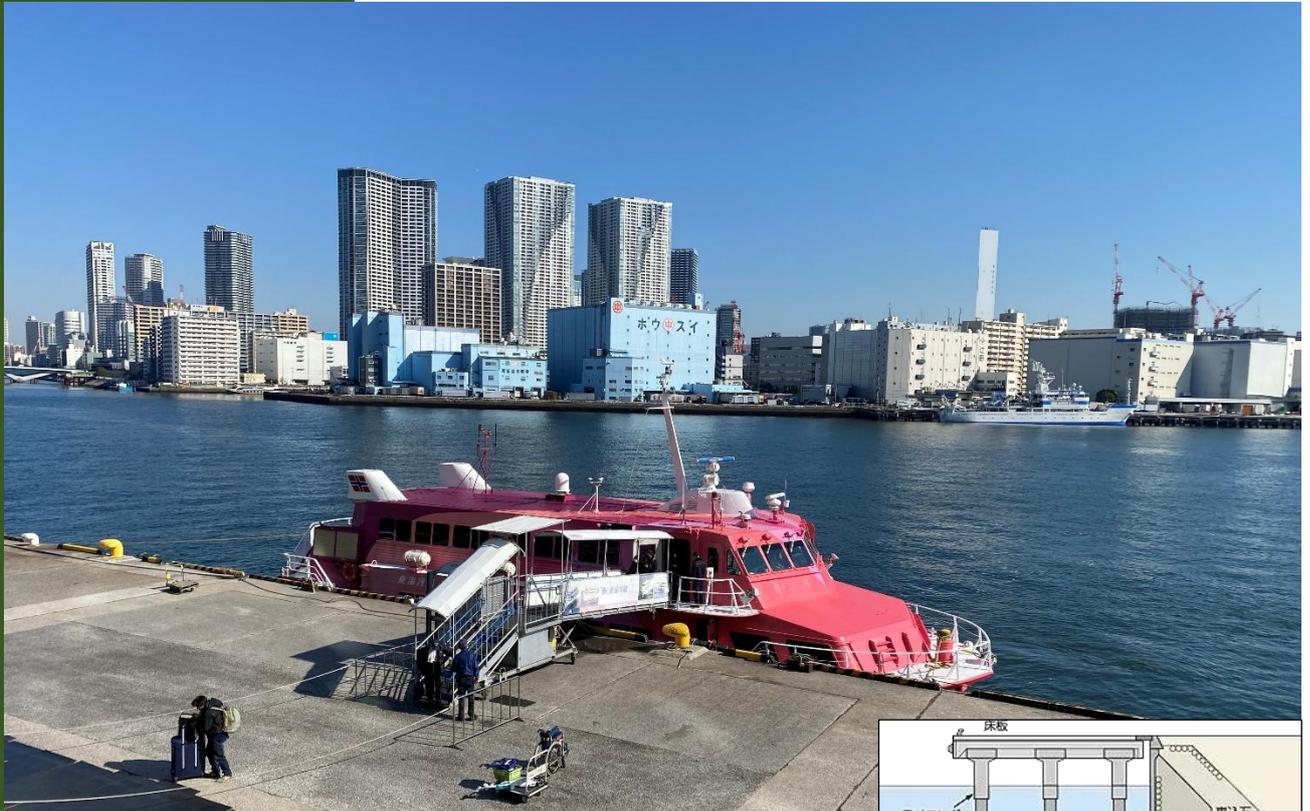


CNCP 通信

VOL.141 / 2026.1.5

■今月の土木■



【上】東京・竹芝埠頭から豊海町（埋立地）を望む

【右】一般的な「杭式横棧橋」の構造図
（(一社)日本埋立浚渫協会 HP より）

▼年頭の挨拶

・「適疎な地域づくり」を深掘りする一市民の参加と協働のデザインを念頭にー

：山本卓朗

▼土木と市民をつなぐ活動

・土木の見方を変えて、味方を増やす～「広告業界出身の土木偏愛者」の活かし方～

：小川慎太郎

▼社会課題への取組み

・国際憲章「泳げる都市の川」ーSwimmable Citiesー

：三井元子

▼イベント案内

・あらかわ学会年次大会
2025 募集開始！：三井元子

▼事務局通信

■東京港竹芝埠頭と豊海町

ここは、東京港の竹芝埠頭です。東京都港湾局から委託された東京港埠頭(株)（港湾施設）と(株)東京テレポートセンター（ニューピア竹芝）が管理する施設で、構造形式は「棧橋」。私の学生時代は「竹芝棧橋」の名で知られていました。ここから、東海汽船(株)の船が、伊豆8島と熱海・館山などに行きます。写真の船は、伊豆5島と熱海・館山に行くジェットfoil「セブンアイランド」で、水中翼が常に沈む「全没翼型水中翼船」という波浪中でも動揺しない構造です。（写真の赤い「セブンアイランド愛」は2025年8月に引退）

向こうに見えるのは、中央区豊海町。江戸時代の佃、明治の月島、大正の勝ちどき、昭和の晴海・豊海と続いた一番新しい埋立地で、港湾地区のほかに魚類冷凍・冷蔵倉庫が林立しています。

この水域は、東京港で、隅田川の終端は、左端に小さく側径間が写っている「築地大橋」の向こうです。

（CNCP 常務理事：田中努）

